

6年ぶり
ウミガメ

「戻ってくれうれしい」

望海浜 清掃続ける住民ら

ウミガメが上陸した痕跡を調べる須磨海浜水族園の
研究員ら＝船上町(撮影・小林良多)

明石市船上町の望海浜でアカウミガメの上陸が確認された16日、砂浜では近隣住民らが足跡などの保全作業を見守った。前回の上陸

から6年。ウミガメの

来る浜を目指し砂浜の

清掃活動を続けてきた

市民らは「もう幻にな

るかと思っていた。産

卵してくれていれば」

と期待を膨らませた。

(社会面参照)

神戸市立須磨海浜水

族園の谷口真理研究員

によると、甲羅の長さ

が80センチ前後のアカウミ

ガメとみられ、瀬戸内

海では淡路島の成ケ島

で数年に一度確認され

る程度。産卵していれ

ば、10日から2週間後

に再び上陸することが

多いという。

林崎海岸で年に一度

砂浜の掃除を行うボラ

ンティア団体「アカシ

ウミガメ保護研究会」

リーダーの坂平高志さ

ん(52)は「長く姿を見

られず意気消沈してい

た。明石に戻って来て

くれてうれしい」。砂浜 白石脩馬君(12)は「水」のゴミが散乱する砂浜には近くの市立衣川中 族館で見たウミガメがに「清掃活動をしてき学校の生徒も。1年生 こんな近くに来たなんれいにしなければ」との旗山竜之介君(13)とて」と驚く一方、大量話した。(広畑千春)